

## 県議会議員との意見交換会の概要（議員からの主な意見）

## （１）計画全般について

## ＜総論（県づくりの視点、基本理念など）について＞

- 4 つの県づくりの視点が計画にどう生かされているのかわかりにくい。計画の他の部分との整合性という点も考慮してほしい。
- 基本理念（目標）は県民が一番意識するところだと思うので、夢があって躍動感があるしっかりした表現で示してほしい。
- 「2020 年代に半ばに期待される富山県の姿」のなかに、野菜の生産額をどう上げていくかという点について具体的に記載してもいいのではないか。
- 時代変化は激しいので、この計画は途中で遠慮なく見直すということも含めたものであってほしい。

## ＜重点戦略、長期構想について＞

- 5 つの重点戦略のテーマに、暮らしの安心・安全、福祉の充実といった内容を盛り込んでほしい。
- 長期構想には日本を代表するアニメ、マンガのテーマパークをつくる「富山 J AMP 構想」（ジャパン・アニメ・マンガ・パーク構想）を盛り込んでほしい。

## ＜地域別の特性と取組みについて＞

- 「地域別の特性と取組み」は現行計画の 4 地域でお願いしたい。行政運営の総合的な指針となる総合計画では、住民福祉や医療の点から 4 地域とした方が都合がよい。
- 富山県は川によって立つ県だと思っているので、流域主義、流域地区といったものもかみあわせながら、県の方向付けを考えていただきたい。

## ＜その他計画全般について＞

- この計画では、県が行う行政サービス、連携中枢都市圏が行うサービス、市町村が行う行政サービスをどのような考え方で整理されているのか。
- 今日ある課題をどのように解決していくのということを、この計画に落とし込んでいただきたい。ニーズは膨らみつつある一方で、予算が非常に限られる問題に対して、何らかの方向性なりを見出す計画でないと、今ある課題は 10 年、20 年経っても解決しないのではないか。
- 政策毎に設定する目標数値は、これからを担う若い人の希望も入れた、大胆な夢のあるような目標数値を設定してほしい。
- 市町村の考えと県の総合計画の整合性をどのようにとっていくのか。
- 色々な点で富山県は全国で上位にランクされている割には、存在感は非常に薄い。この総合計画から富山県の独自性が浮かび上がってくるようなメリハリも必要ではないか。
- 転出者にもアンケートが取れるような状態ができれば、総合計画の弱点が 1 つでも拾える

のではないか。

- 県の職員は現場に行って、現状をもっと見て、計画に反映していただきたい。
- 計画に数値目標や投資額（財政目標）が大まかに添えられていれば、具体的なボリュームや力点分かり、より県民の協力が得られやすくなると思う。

## （２）基本政策（「活力」分野）について

### <グローバル競争を勝ち抜く力強い産業の育成と雇用の確保>

- 県内の中小企業が第3次産業革命にも乗り遅れている。第4次産業革命以前の中小企業の情報化について、1回足元を見ていただきたい。
- 地元の企業が儲けて税金を納めて地元の銀行に預けることが一番の活力。きめの細かい経済政策、産業政策を重点的にやっていただきたい。

### <生産性・付加価値の高い農林水産業の振興>

- 農業の担い手が平均65歳以上というのは、大きな問題である。このことについてどう攻めていくのかを総合計画でしっかりと打ち出してほしい。

### <環日本海・アジア新時代に向けた陸・海・空の交通基盤等の強化>

- 伏木富山港については、富山港、富山新港、伏木港を一体として考えるような視点を、政策で持ってほしい。
- 北陸新幹線開業後の富山県の経済状況がどう好転したかを、新総合計画に当てはめていただきたい。
- 伏木富山港が災害時における補完的機能を果たすためには、平時から太平洋側の2割、3割の能力を持つ港湾として整備しなくてはならない。今の伏木富山港の10倍ぐらいの港湾として使われなくては、太平洋側に代わる力を持たない。
- 伏木富山港を活かすには、日本一のものづくり産業県の愛知との太いパイプをつくって、縦にある東海北陸道をはじめとする物流面を意識する必要がある。かつ複合運送能力を強くしていかなければならない。港湾にレールが入っていないことは最大の欠点であると思っている。

### <観光振興と魅力あるまちづくり>

- 車に頼らない生活ができるようなまちをどのように作っていくかという視点を入れてほしい。
- 市街地に関して、調整区域を含めた見直しをしながら、市民サービスがコストダウンする方策を県でとりまとめていくことが大変重要になってくる。
- 富山県の強みを一層磨き上げると同時に、アルファベット言語での発信力、フリーアクセス、情報の取扱いに関するセキュリティを高めて、コンテンツとしての富山県の魅力を発信していかないと、ハブの役割、人・もの・金が集まる、栄えるという仕組みはこれからつくれなくなるのではないか。また、立山・黒部といった自然文化でもハブは作れると思う。

- 「立山黒部」の世界ブランド化には突破しなければならない大きな課題をたくさん抱えているが、現実のものにしていただきたい。黒部ルートを開放し、周遊性があることを外に向かって言えるようにしてほしい。2020年までに外国人旅行客を4000万人まで増やすという政府の取組みについての対応をしっかりとしてほしい。

### <その他活力全般>

- エネルギーやAIなどを専門とする人材を県庁に配置して、時代に乗り遅れることのないように調査・研究し、必要なものは導入していくという前向きな取組み姿勢が必要ではないか。

### (3) 基本政策（「未来」分野）について

#### <結婚・出産・子育ての願いがかなう環境づくり>

- 子育て支援の関係で言えば、医療費助成の拡大。窓口無料制度の拡大も含めて、医療の安心はとても大事なことはないか。

#### <真の人間力を育む学校教育の振興と家庭・地域の教育力の向上>

- 定数外教員及び正規教員の増員を書き加えてほしい。先生たちの人件費にお金をかけてほしい。
- 学校図書館や学校司書設置の充実も書き加えていただきたい。
- 地域や日本を支えていけるのは教育だという観点から、35人学級選択制を小中学校の全部とするとか、小学校だけでも完全な35人学級を目指すというくらいことは書いていただきたい。
- 「真の人間力を育む学校教育の振興と家庭・地域の教育力の向上」のためには、学校の先生の質を上げるしかない。
- 県立図書館と市町村図書館の連携についても加えられるように切望する。

### <その他未来全般>

- 人間教育というのはなかなか言葉では言い尽くせないところだが、今回の計画にはちょっと見えない。教育に熱心に取り組んでいる、子どもたちにもお年寄りにも何か優しい、あるいは思いやりがあって全国のモデルになるような富山県ならばこそその施策があればよい。

### (4) 基本政策（「安心」分野）について

#### <いのちを守る医療の充実と健康寿命日本一>

- 健康寿命をしっかり延ばしていくことに本腰を入れ、市町村とも協力して、県民運動として展開していくことによって、自然と医療の負担が落ちてくる姿を計画的につくっていかなくてはならない。医療費が自然と減らすようなかじ取りをしっかりと進めていく必要がある。

#### <環日本海地域をリードする「環境・エネルギー先端県」づくり>

- 富山湾はごみの山であるということを認識していただきたい。ごみが山のように埋まっていることについて、対応策を得て解決に向けて努力していただきたい。先を見た他県にはない富山発の環境施策を打ち出していただきたい。

#### <災害に強く、「日本一安全・安心な県」づくり>

- 真の意味での防災危機管理対策を次期の総合計画で講ずべき。総合的な情報の収集・管理や分析、具体的な災害の際に対応できる体制のとれた人員も配置された危機管理体制を取るべき。

#### <その他安心全般>

- 10年間で財政の好転が見込めない中で、社会福祉が今後困難になることも予測されるので、社会福祉に光を当てていく必要がある。

#### (5) 重要政策「人づくり」について

##### <すべての人が活躍できる環境づくり>

- 格差が固定しないような、一人一人が輝いて活躍できるような社会の構築が大事である。